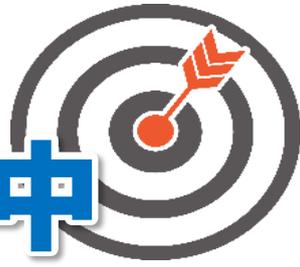


# 2026 ズバリ! 的中



# 世界史

## 慶應義塾大学

### 14世紀後半のオスマン朝による 勢力拡大をテーマとした問題が的中

#### 入試問題

2月16日実施 法学部  
問題Ⅲ (53) (54) (55) (56)

#### 問題Ⅲ

以下の文章の空欄〔51〕から〔56〕に入る最も適切な語句を〔語群〕より選び、その番号をマークシート解  
用紙の所定の欄にマークしなさい。同じ番号の空欄には同じ語句が入る。また、下線部(ア)から(エ)に関連する設問  
1から4について、指示に従って番号を選び、マークシート解用紙の所定の欄にマークしなさい。設問5の解答は、  
指示に従って記述式解用紙の所定の欄に記入しなさい。

世界史上、東アジアから西アジアに移動した民族として、トルコ人が挙げられる。トルコ人は、もともとモンゴル高原  
で遊牧生活をしてきたが、この地域を支配していたトルコ系王朝が9世紀に滅亡した頃から、イスラーム世界の諸王朝の  
奴隷軍人として中央アジアや西アジアに流入した。<sup>(ア)</sup>トルコ系の奴隷軍人としてこれらの地域に進出した者のなかからは、  
自らの王朝を建てる者も現れた。<sup>(イ)</sup>11世紀後半に起こった戦いでビザンツ帝国を破った王朝の一族は、〔51〕〔52〕  
に独立した王朝を築き、この地域のトルコ化に寄与した。この王朝は、モンゴル軍の攻撃を受けて13世紀後半には衰退し  
た。これにより権力の空白が生じた〔51〕〔52〕では、多数の勢力が割拠する状態となった。そのなかで頭角を現し  
たのが、<sup>(ウ)</sup>オスマン朝である。

〔51〕〔52〕の北西部を本拠地としていたオスマン朝はバルカン半島に勢力を拡大し、14世紀後半にはバルカン  
半島東南部の〔53〕〔54〕を占領して、そこを首都とした。14世紀末には〔55〕〔56〕の戦いでヨーロッパ  
諸国の連合軍に勝利してドナウ川下流域を支配し、1453年にはコンスタンティノープルを陥落させ、ビザンツ帝国を滅ぼ  
した。16世紀に入ると、オスマン朝はさらに支配領域を拡大した。1514年には、サファヴィー朝との戦いに勝利し、  
〔51〕〔52〕の東部を支配下に入れた。また、<sup>(エ)</sup>シリアやエジプトを支配していた王朝を滅ぼし、イスラーム教の  
二つの聖都の保護権も獲得した。

#### 〔語群〕

- |                |              |             |           |
|----------------|--------------|-------------|-----------|
| 01. アイン=ジャールート | 02. アドリアノーブル | 03. アナトリア   | 04. アルメニア |
| 05. イズミール      | 06. イラク      | 07. イラン     | 08. カフカス  |
| 09. コソヴォ       | 10. ザグレブ     | 11. シナイ     | 12. スコピエ  |
| 13. ソフィア       | 14. チャルディラン  | 15. テッサロニケ  | 16. ニコポリス |
| 17. ブレヴェゼ      | 18. ベオグラード   | 19. マラーズギルド | 20. モハーチ  |
| 21. レバノン       | 22. レバント     |             |           |

#### 河合塾

大学受験科 基礎シリーズ 完全習得タイム  
第6回 ⑧ (B) (C)

⑧ 次の文章を読み、空欄 ( A ) ~ ( J ) に最も適切な語句を記入し、下線部(1)~(5)に  
関する各設問に答えよ。

中央アジアの ( A ) = ハン国は、14世紀半ば頃、<sup>(1)</sup>マウワラーアンナフルと呼ばれるアム  
川からシル川にかけての地域を中心とする西部と、モグーリスタンと呼ばれる草原地帯である  
東部に分裂した。トルコ化・イスラーム化が進んだ西部では、アミールと呼ばれる各地の部族  
の統率者たちが覇権争いを繰り返した。有力アミールの一人であったティムールは、1370年、  
この抗争を制して新たな政権を樹立した。モンゴルの伝統を尊重し、チンギス家に属する女性  
を娶うことで自らの威信を高めたティムールは、アミールたちの抵抗を巧みに退けつつ、モ  
グーリスタンやアム川下流域のホラズム地方に度々遠征した。こうして政権の樹立から約10年  
間で中央アジアの支配権を握った後、旧モンゴル帝国領の再統一を目指し、大規模な征服活動  
を開始するのである。

イランとイラクを中心とする地域では、フレグを創始者とするモンゴル政権が14世紀半ばま  
でに衰退し、その後、大小の諸勢力が分立する状態が続いていた。ティムールは、1380年代以  
降、これらの勢力を次々と攻略した。この過程で、のちにティムール朝の首都となるアフガニ  
スタン北西部のヘラートを獲得したほか、イラン北西部のタブリーズ、イラン南部のシーラー  
ズ、<sup>(2)</sup>イラクのバグダードなどの重要都市を手中に収めた。また、14世紀後半のアナトリアと  
バルカン半島では、オスマン朝がバルカン半島東南部の ( B ) を征服して首都に定め、こ  
の都市を拠点に領土の拡張を進めていた。1389年にスルタンとなったバヤジット1世は、コン  
スタンティノープルを包圍してビザンツ帝国を追い詰め、1396年には ( C ) の戦いでハン  
ガリー王ジギスムントの率いる連合軍を撃破した。この強力なオスマン朝に対しても戦いを挑  
んだティムールは、1402年にアンカラの近郊でオスマン朝軍に勝利し、バヤジット1世を捕虜  
とした。